

## 第66回千葉県高等学校総合体育大会登山大会登山競技プログラム

- 1 主催 千葉県高等学校体育連盟 千葉県教育委員会 (公財) 千葉県体育協会
- 2 後援 千葉県山岳連盟 千葉市教育委員会
- 3 主管 千葉県高等学校体育連盟登山専門部
- 4 趣旨 県下高校教育の健全な発達と高校スポーツの振興を図り、あわせて平成25年度全国高等学校総合体育大会の本県代表選抜を行う。
- 5 期日 平成25年5月10日(金)～11日(土)
- 6 会場 奥多摩山城「三ノ木戸山」(東京都西多摩郡奥多摩町)  
氷川キャンプ場 電話0428-83-2134

### 7 大会役員

名誉会長	瀧本 寛	森田 健作	宇野 仁章
会長	萩原 出		
副会長	大久保 利宏	田浦 定一	植草 完
	由利 聡	森谷 英一	
大会委員長	米澤 努		
大会副委員長	津田 亘彦	樽 正人	岩崎 喜司

### 8 競技役員

登山隊長	樽 正人		
競技委員長	関 研一		
審査委員長	眞田 武彦		
式典・表彰	原 政樹	三浦 晃靖	
会計	高野 義教		
設営	佐々木 輝彦	浅野 裕史	小平 幸治

# 1 大会日程

## 5月10日(金)

	A 隊	B 隊	役員・監督
11:00			常任委員集合 打合せ
12:00	受付開始 (参加費納入・登山計画書提出)	受付開始 (参加費納入・登山計画書提出) テント設営	会計(高野・荒川)
12:30			A隊監督, 審査員会議
13:20	開会式	開会式	式典(原政・三浦)
14:00	設営審査開始	A隊設営を見学	設営審査員
15:00	装備審査開始		装備審査員
15:30	炊事審査開始		炊事審査員
16:00	天気凶審査開始		天気凶審査員(浅野・山本)
	知識審査開始		知識審査員(齋藤・高野)
16:10			生活審査員会議
18:00	リーダー集合	リーダー集合	監督会議
20:00	消灯就寝	消灯就寝	各校テント巡回 (関・各校監督)

## 5月11日(土)

	A 隊	B 隊	役員・監督
04:00	起床	起床	各監督
05:30	本計量開始(売店前広場) 計量後, パーティ毎にスタート地点へ移動		計量役員 (佐々木・江野沢・小平・古川)
05:45			行動審査員集合(売店前広場) 車で移動開始
06:30		売店前広場に集合 点呼後, 登山開始	B隊隊長(三浦)及び副隊長(阿部雅・石渡)が指示
07:00	スタート開始		行動審査開始 副隊長先頭, 隊長最後尾
09:30	山頂出発(下山)リミット 下山時もパーティ行動	934m地点リミット, 山頂出発リミット 下山時もパーティ行動	各学校のパーティを引率して下山
11:00	キャンプ場到着 大会本部に下山報告	キャンプ場到着 大会本部に下山報告	大会本部 (樽)
~12:10	昼食および交流会		
12:10	リーダー集合 キャンプ場清掃		設営(佐々木・浅野・小平)
12:20	成績発表 表彰式 終了後, 学校ごとに帰校		式典(原政・三浦)

### 開会式次第

(司会: 原政)

- 1 優勝旗・準優勝楯返還
- 2 登山部長あいさつ
- 3 選手宣誓
- 4 諸連絡
  - ① 役員紹介 競技委員長 審査委員長 主任審査員 B隊隊長
  - ② 設営係より
  - ③ 会計より
  - ④ その他

### 表彰式閉会式次第

(司会: 三浦)

- 1 成績発表 審査委員長(男子8位から 女子3位から)
- 2 表彰
- 3 講評 競技委員長
- 4 登山部長あいさつ
- 5 諸連絡

## 2 A隊・オープンA隊 実施要項

### (1) 目的

- ① 生徒の向上心および目的意識を高揚し、登山活動の基本的な生活技術および体力を養成する。
- ② 登山活動におけるパーティの自主性を培い、リーダーの指導性およびメンバーの協調性を養う。
- ③ 組織的大会運営を通じて、集団登山におけるより高度な安全性確保に資する。

### (2) 競技規定

#### ① 審査規定

- a パーティは4名の選手で構成し、受付後の選手の交代は認めない。
- b 生活・知識・行動の各審査項目の総合点によって順位を決定する。総合点は200点満点とし、加減点法を併用し算出する。
- c 生活審査は、登山に必要な生活技術と装備の有無について実技審査する。
- d 知識審査は、登山活動を安全かつ有意義に実践するために必要な知識を審査する。
- e 行動審査は4名で構成されるパーティによるタイムレースとする。
- f 総合点が同点の場合、順位は行動タイムを優先する。
- g 成績優秀なパーティを表彰し、全国総体または関東大会出場校として推薦する。

#### ② ゼッケン規定

- a 各パーティのリーダーは大会期間中ゼッケンを着用する。
- b 出場パーティのゼッケン番号は委員総会の抽選会で決定し、班編成・スタート順はすべてゼッケン番号による。
- c 各テントには大会本部で用意したゼッケン番号の表札を掲示する。

#### ③ 安全規定

- a 競技期間中、引率顧問（監督）は大会競技役員として全員役割につき、各ポイント等で選手の安全の徹底をはかる。
- b 選手監督ともに健康には十分注意し、無理な行動は絶対に慎む。
- c 監督は、計量前に検温により選手の健康状態を把握し、選手の体調不良が認められる場合は大会本部に申告する。
- d 上記cの申告を受けた場合を含め、選手の体調不良が認められる場合は、大会本部は協議の上、当該選手の競技継続の可否を判断する。

#### ④ 罰則規定

- a 高校生としての品位を傷つける行為は、風紀違反としそのパーティを失格とする。
- b 競技規定に違反した場合は失格を含む罰則を定める。
- c 不測の問題が生じたときには大会本部で協議の上、審査判断する。

#### ⑤ オープンA隊

- a A隊の予備的段階として、A隊競技にオープン参加する。行動や審査は全てA隊と同じで採点も行う。
- b 1チームの人数は4名を原則とするが、3名でも可とする。3名の場合の担架重量は、男子45kg 女子30kgとする。
- c 行動審査はA隊パーティがすべてスタートしてから開始する。

### (3) A隊審査要項

#### ① 生活審査（合計35点）

- a 設営（20点）制限時間10分。経過後、選手はテントから離れる。（注1）
- b 装備（10点）必需品の中から数品目を選び検査し、不足品1件につき－4点とする。（注2）  
寝袋、着替えなどの防水対策の不備（－2）  
携行品の破損・安全対策の不備（－2）
- c 炊事（5点）1日目の夕食を審査する。米を炊くことを条件とする。（注3）  
コンロの扱い 部品不備 整備不良 軍手未使用（－2）

#### （注1）設営審査細目

- ① 設営開始の合図後にザックを開けること。
- ② テント本体とフライシートのファスナーをおろして設営終了とする。
- ③ テント本体にはペグを打って固定する。ペグの入りにくい場所については何らかの工夫をしてテント本体を地面に固定すること。  
(テントの中やフライシート、張り綱の上に直接石を置いて固定するのは不可)
- ④ 張り綱のついているテントは、張り綱を張ること。

- ⑤設営中にテント袋，ポール袋，銀マットを地面に置かない。  
風に飛ばないようにザックやポケットにしまう工夫をすること。
- ⑥アンダーシートを敷く場合の大きさはテント本体より大きくならないこと。
- ⑦テント内は整理整頓しておくこと。銀マットを敷きつめ，ザックの雨蓋を閉じて，テント本体に接触しないようにして四隅に置く。炊事の準備などは指示があるまで始めなくてよい。

**(注2) 共同装備審査リスト**

テント一式 ツェルト コッヘル 炊事用具 コンロ 燃料 ラジオ 修理用具 (パンチ ドライバー 針金 ガムテープ リペアテープ等) 医薬品 (体温計 消毒薬 風邪薬 胃腸薬 虫さされ薬 三角巾 包帯 傷テープ テーピングテープ はさみ 等) 最終日までの食材

**個人装備審査リスト**

登山ウェア (登山用長袖長ズボン・ニッカまたはジャージ[上着は襟があること]) 帽子 (バンダナ，タオルは不可) 雨具 (上下セパレートの物，傘不可) 軍手 防寒具 (セーター，フリース，ジャージ，トレーナー) 着替え 登山靴 (足首の保護できるもの) ザックカバー 寝袋 水筒 (2リットル以上 ペットボトルも可) 食器 行動食 非常食 細引き (太さ4～6mmで長さ5m以上) 磁石 計画書 地形図 (2.5万分の1「奥多摩湖」1枚は実物，残りはコピー可) ヘッドランプ (予備電池・予備電球を含む[LEDタイプの電球はのぞく]ザック内で点灯しないようにスイッチをガムテープで止めるか，電池の接点に紙を挟む，電池を本体から抜いて一つのビニール袋に入れるなど配慮すること)

**(注3) 炊事の開始指示後，15分以内に火をつけること。**

**②知識審査 (合計45点)**

- a 天気図 (10点) ラジオ気象通報 (録音) を聞いて天気図を作成する。(注3)
- b 読図 (10点) 登山行動中数地点で，地形図による現在地の確認等を行う。高度計，GPS等の位置観測機器は使用できない。
- c 知識ペーパーテスト (20点)  
安全登山技術講習会 安全登山講習会 県総合体育大会 新人大会等の内容から出題する。ロープの結び方等の実技試験を含むこともある。
- d 計画・記録 (5点)  
登山計画書 計画書の内容 (参加者名簿 緊急連絡先 日程 概念図 食料計画 装備リスト 等) について、3か所を抽出し審査する。(3点)  
行動記録書 本部で配布する用紙に登山行動中の記録を記入する。そのうち2か所を抽出し審査する。(2点)

**(注3) 天気図審査細目**

- ア 各地点の気象データの正確な記入 (2点)  
2地点を選び，風向・風力・天気・気圧・気温の5項目について，すべて正確に記入されていれば各1点
- イ 高気圧 低気圧の正確な記入 (2点)  
高気圧低気圧各1つについて，位置・気圧・進行方向・速度について，すべて正確に記入されていれば各1点
- ウ 前線の正確な記入 (1点)  
前線1つについて位置・記号・色についてすべて正確に記入されていること。
- エ 基本等圧線の正確な記入 (1点)  
放送で位置を知らせた等圧線について正確に記入されていること。
- オ 全体的な仕上がり状態 (2点)  
等圧線の記入状態や10hPa毎に太線になっているかなどについて審査する。なお，等圧線は2hPa毎に引くこと。
- カ 天気予報 (2点)  
翌日の奥多摩山域の天気予想，およびそう考えた理由について答える。

**③行動審査 (合計120点)**

- a パーティ毎に行動記録用紙を受け取り，ゼッケン番号順に1分間隔でスタートする。  
担荷重量はスタート時男子60[kg]女子40[kg]とする (注4)
- b ルート上には8つの観察ポイントがある。観察ポイントでは学校名の確認と全員揃ってからの通過を守る。
- c 9:30を山頂からの下山開始の最終時刻とする。仮に行動中のパーティがあった場合は，その時点で行動を中止し，下山を開始すること。
- d 行動得点として，40分でゴールしたパーティに120点を与える。スタート後1時間40分で行

動点が0点となるように得点を比例配分し、秒単位で得点到換算する（小数点第3位を四捨五入する）。40分を切った場合は、同様の方式で加点する。

e 減点規定

- 規定重量不足 ゴール時男子55[kg]，女子35[kg]未満の場合，1[kg]不足する毎に10点ずつ減点する。
- 進路妨害 後続パーティに並ばれた場合，無条件で道を譲る。故意に妨害した場合，20点以上の減点または失格。
- 服装違反 登山用長袖長ズボン（ニッカまたはジャージ），帽子の着用（バンダナ，タオルは不可）に違反する場合，1人につき4点減点する。
- 安全対策不備 足首をおおう登山用シューズでない場合，1人につき5点減点する。

(注4) 担荷重量はザックの重量とする。競技中にストック等を使用するのはかまわないが，その重量は担荷重量には含まない。

A隊の荷物は，B隊に預けてはならない。山行に関する装備は必ず持参した上で，全体として極力軽量化を図る。ただし女子の担荷重量については，40kgを超えた場合，登山に必要な装備に限って本部で預かる。

(4) 審査員役割分担

第1日目 5月10日(金)

①生活審査役割分担 \* 印 各審査員のチーフ

	A 班 (男子A)	B 班 (男子A)	C 班 (男子A)	D 班 (男子A)	E 班 (女子A)	F 班 (女子男子0A)	G 班 (男子0A)	H 班 (男子0A)
設営審査員A	*大川	小平	浅野	江野澤	加藤勇	神品	高山	三浦
設営審査員B	古川	*原政	原邦	細川	齋藤	長谷川	山田	曾田
装備審査員	*眞田 阿部 内山				泉水 石渡 青木			
炊事審査員	井上	*佐々木	住吉	吉田	中臺	中川	加藤洋	高木

※設営審査員Aは各班の主任審査員を兼ねる。

予備要員： 藤田

- a 設営審査員A テント本体・フライ・ペグ・張り綱
- 設営審査員B グラドシート・テント内の整理整頓・周りの残置物
- 装備審査員 団体装備・個人装備
- 炊事審査員 コンロの使用法・米飯
- b 各審査員は審査内容について事前にうちあわせをする。(12:30～大会本部)
- c 設営中は設営審査員Aと設営審査員Bがペアで担当する班の審査を行う。
- d 設営終了後，A～D班の設営審査員Aは4名一組となりA～D班すべてのテントを審査する。同様にE～H班の設営審査員Aは4名一組でE～H班のテントを審査する。
- e 設営審査員Aの審査が終了したテントから順に，A～D班の設営審査員Bは4名一組となりA～D班すべてのテントを審査する。同様にE～H班の設営審査員Bは4名一組でE～H班のテントを審査する。
- f 装備審査員は3名一組となり，設営審査員Bの審査が終了したパーティーを呼び装備の審査を行う。
- g 装備審査が終了した班から炊事の指示をし，炊事審査を行う。
- h タイムテーブル

	選手の行動	審査員の行動
12:30		各審査員事前打合せ
13:50	各班のテントサイトに移動	設営審査員Aが引率
14:00	テント設営開始	各班の設営審査員A, Bがペアで審査開始
14:10	テント設営終了	
14:10～ 15:10	設営エリアから離れる。設営審査が終了した班より，装備審査，炊事審査を受ける。	設営審査員A, B審査開始 終了後，各班ごとに順次装備審査，炊事審査開始
16:00頃		審査終了宣言（審査委員長）
16:10		生活審査員会議

- ②天気図 浅野・山本
- ④計画書・記録書 眞田・佐々木

- ③知識ペーパーテスト 齋藤・高野
- ⑤装備，計画書，記録書のチェック箇所 齋藤

第2日目 5月11日(土)

①行動審査役割分担 \*印 無線携帯者 ※B隊を含めたエントリー終了後、調整します

役割	担当役員	備品
スタート計量 (キャンプ場売店横)	佐々木 江野澤 小平 古川	秤3 A隊名簿
スタート合図	*原政 大川	A隊名簿 旗 時計
観察ポイント①舗装路口	*原邦	A隊B隊名簿, ポイント表示板
観察ポイント②林道分岐 および登山口	*小平	A隊B隊名簿, ポイント表示板
観察ポイント③城への分岐	*佐々木 高木 高林	A隊B隊名簿, ポイント表示板
観察ポイント④814m手前 救護ポイント	*江野澤 高山 古川 細川 内山	A隊B隊名簿, ポイント表示板 AED, 救急薬品
観察ポイント⑤934mの先	*高野 中川 (荒川)	A隊B隊名簿, ポイント表示板
観察ポイント⑥植林帯入口	*山田 青木	A隊B隊名簿, ポイント表示板
観察ポイント⑦植林帯中間	*中臺 丸山	A隊B隊名簿, ポイント表示板
観察ポイント⑧頂上直下分岐	*井上 泉水	A隊B隊名簿, ポイント表示板
ゴール計時	*関 *浅野	A隊名簿, 時計, AED, 救急薬品
ゴール計量・記録書回収	*眞田 加藤勇 神品 長谷川	秤(予備含む), A隊名簿, 電卓
読図	*荒川	読図用紙 OLポスト
巡回車・救護車	江野澤 高山	
本部待機・下山確認(キャンプ場)	*樽	

②補足事項

- 江野澤・高山は救護車(江野澤号)を城集落に駐車して入山し、④で緊急時に備え待機する。下山時はB隊を含む全パーティーが④通過後、城集落よりキャンプ場へ戻る。
- 原政・大川はA隊スタート後、最後尾を頂上まで登り、都度①～⑧ポイントの担当者に終了を知らせる。
- 各ポイント担当者は審査終了後、適宜自校のパーティと合流し、引率下山する。
- 浅野は審査終了後、山頂にて下山の指示を行い、最後尾(B隊を含む)をキャンプ場まで下山させる。
- 関・眞田はゴール計時・計量のデータおよび記録書を持参し速やかに城集落へ下山する。城集落からは車(関号)でキャンプ場に戻り、集計作業を行う。
- 荒川は読図用紙回収後、城集落まで下山し、上記eとともにキャンプ場に戻る。
- 常任委員は各自の審査終了後、下山パーティの安全確認および指示等を行う。

(5) 班編成 番号はゼッケン番号(出発順)

A班 男子A	B班 男子A	C班 男子A	D班 男子A	E班 女子A	F班 オープンA女子男子	G班 オープンA男子	H班 オープンA男子
1 千葉工業	6 東総工業	11 (欠番)	17 県立千葉	1 渋谷幕張	7 東金	27 千葉東	32 幕張総合
2 商大付属	7 渋谷幕張	12 東金	18 幕張総合	2 船橋東	8 幕張総合	28 成田	33 船橋東
3 印旛明誠	8 市川	13 県立船橋	19 佐原	3 幕張総合	23 渋谷幕張	29 成東	34 市川
4 匝瑳	9 市川工業	14 八千代	20 市立千葉	4 東海大浦安	24 東金	30 東海大浦安	35 八千代
5 千葉東	10 成田	15 東海大浦安	21 船橋東	5 千葉東	25 県立千葉	31 商大付属	36 千葉工業
		16 日大習志野	22 成東	6 千葉商大	26 市川工業		37 専大松戸

### 3 B隊実施要項

#### (1) 目的

- ①A隊参加の予備的段階として、総体登山競技に参加する。
- ②人数制限を設けず順位付けを行わないことで、総体登山大会への幅広い参加の機会を与える。

#### (2) 競技規定

①設営 所定の場所に隊長の指示で設営する。各校ごとにまとめて設営し、テント入口には校名表示板をつけること。

②生活 服装はA隊と同様、登山用長袖長ズボンあるいはニッカまたはジャージとする。選手だけでキャンプ場の外に出ることは禁止する。風紀違反などはA隊に準じて指導する。

#### ③登山行動

- a 各校ごとのサブザックによるパーティ行動（監督も含む）とする。ただし、先頭にB隊副隊長、最後尾に隊長、総務がつく。
- b 参加校識別のため、B 5版の布に校名を記入しサブザックにつけること。
- c 5月13日はキャンプ場売店前に6：30に集合し、登山行動を開始する。  
登山ルートはA隊を追従する形をとる。ただし、⑧ポイントから通常の登山道（三ノ木戸山をトラバースする登山道）を進み、トラバースが終了する場所にある道標から三ノ木戸山へ戻るコースをとる。下山はA隊コースを下山する。
- d ⑤ポイント到着リミットを9：30とし、それ以後はパーティ単位で下山開始。
- e 記録用紙を各パーティに配布するので行動タイムなどを記録し、下山報告時に本部に提出すること。
- f 下山の際も監督を含むパーティ行動をすること。キャンプ場には11：00までに戻ること。キャンプ場についたら本部に下山報告をすること。

#### (3) 役割分担 \*印 無線携帯者

役割	担当	役割	担当
B隊隊長	* 三浦	救護ポイント	* 江野澤 高山
B隊副隊長	* 阿部 石渡	(観察ポイント④)	
B隊総務	齋藤	下山確認	
引率	各校監督	(キャンプ場売店前)	* 樽
生活指導	各校監督		

### 4 その他

#### (1) 審査員輸送計画（配車） キャンプ場売店前集合05：40

関号 キャンプ場→城  
関 浅野 眞田 加藤勇 丸山

江野澤号① キャンプ場→城→キャンプ場  
江野澤 神品 長谷川 井上 泉水

江野澤号② キャンプ場→城  
江野澤 高山 古川 細川 内山

齋藤号① キャンプ場→城→キャンプ場  
齋藤 中臺 山田 青木 高野 中川 佐々木

齋藤号② キャンプ場→羽黒三田神社入口→①ポイント→②ポイント→城→キャンプ場  
齋藤 高木 高林 小平 原邦 原政 大川